

授業科目	*観光学入門 (Aクラス)				単位	2		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	TO11101J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-3 DP1-4 DP4-1 DP4-2 DP5-2			
担当教員	劉 明							
授業概要	観光の歴史や観光産業の構成、特徴および観光産業の定義種類、観光産業におけるホスピタリティ等について論じ、国際観光(インバウンドとアウトバウンド)をはじめ、観光資源(国内と海外)や九州観光の振興についても、具体的な事例をおりこみ、観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光学の定義や研究内容を理解することが出来る。 2. 観光産業の定義や構成及び特徴を理解することが出来る。 3. 観光産業におけるホスピタリティを理解することが出来る。 4. 国際観光及び観光資源の知識を身に付けることが出来る。 5. 九州観光振興の課題と解決策を理解することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)			20		5		25	
知識・理解 (DP1-4)			20		5		25	
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)					5	10	15	
態度(DP4-2)					5	10	15	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			10		10		20	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
観光学とホスピタリティの理論及び観光産業と九州観光に関する知識をしっかりと身に付け、観光を見る目、考える力を十分に涵養できている。				観光学とホスピタリティの理論及び観光産業と九州観光に関する知識をしっかりと身に付け、観光を見る目、考える力を涵養できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイダンス			講義		復習		20

	シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。			
2	・観光とは何か ・観光学とは何か	講義	復習	80
3	・観光史 1(～近世まで)	講義	復習	80
4	・観光史 2(近現代)	講義	復習	80
5	・観光産業の構成・特徴について	講義	復習	80
6	・旅行業について	講義	復習	80
7	・宿泊業について	講義	復習	80
8	・交通運輸業について	講義	復習	80
9	・国際観光 1(インバウンド) ・日本におけるインバウンド観光 ・九州におけるインバウンド観光	講義	復習	80
10	・国際観光 2(アウトバウンド) ・日本におけるアウトバウンド観光 ・九州におけるアウトバウンド観光	講義	復習	80
11	・日本の観光資源について	講義	復習	80
12	・海外の観光資源について	講義	復習	80
13	・観光とホスピタリティーについて	講義	復習	80
14	・観光研修について	講義	復習	80
15	・総括	講義	復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	・実際の観光経験はもちろん、さまざまなメディアを通して日頃より観光に触れておくこと。			
テキスト	レジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・岡本伸之編(2001)『観光学入門』有斐閣アルマ ・JTB 総合研究所編(2018)第7版『観光学基礎 観光に関する14章』JTB 総合研究所 ・劉明(2017)『地域観光マーケティング戦略構築のあり方ー九州のインバウンド観光を事例として』くんぷる 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 旅をすること。 2. 観光書籍・雑誌・新聞をよく読むこと。 3. 少しでも長く勉強を続けること。 4. よく質問すること。 			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけでなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。			

